

大学の世界展開力強化事業（平成27年度選定）中間評価結果

大学名	東京藝術大学
整理番号	T-2
事業名	Global Arts Crossing ～中東地域との戦略的芸術文化外交～

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A-</div>	これまでの取組を一部改善することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	<p> 本事業は、東京藝術大学が独自の芸術文化を育ててきたトルコ及びイスラエルの複数の芸術系大学や芸術系プログラムを持つ大学との間で、学生交流や共同創作活動等により、それぞれの地で形成された芸術を学び創作活動を活性化するとともに、芸術を通じた国際交流や発信力の強化を実践的に学習する先駆的な取組である。 </p> <p> 事業展開においては、相手先である中東地域の政情不安等により、やむを得ず若干の計画変更や事業実施の遅れを余儀なくされているが、東京藝術大学において受入学生との交流活動の実施や、相手大学の教員を招聘して芸術文化についての講義を行うなど、日本人学生がトルコやイスラエルを中心とした中東地域の芸術、文化と可能な限り交流する機会を提供している。また、学生の派遣については、第三国における交流等の事業計画も検討が進められていることや、欧州連合の教育助成プログラム「エラスムス・プラス」の対象校であるトルコのアナドル大学からより強固な連携の申し出や奨学金の提供を受けるなど、事業としての付加価値の向上も見受けられ、現段階において一部改善を要する点はあるものの、状況に応じた代替策の実施等により、事業目的の達成は十分に可能であるものと判断する。 </p> <p> 一方で、東京藝術大学へ留学を希望する学生が多く予見されるが、派遣・受入学生数のバランスや質の保証の確保には引き続き留意されたい。 </p> <p> 今後は、中東地域の安全を十全に考慮しつつ、現地における事業の本格的始動等の取組強化と、トルコのミマル・シナン美術大学については、補助期間終了後も長期的な交流継続の観点から、単位認定制度の確立を含めた本格的な教育連携システムの構築に期待したい。 </p> <p> 最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と、将来の我が国の更なる発展に向け、積極的な事業展開に取り組まれることを期待する。 </p>